

小田原支援学校の先生が足柄小学校へ

かながわの特別支援教育の推進へ向けて地域における支援教育の充実のために、小田原支援学校に在籍している教職員3名が足柄小学校へ派遣教諭として1～2年間の勤務が始まります。

【派遣される3名の教員からのご挨拶】



三浦恵子

支援級と交流級、そして支援学校との架け橋となれるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



渡邊隼人

一人一人の子どもたちが笑顔で楽しく学習できるように全力で頑張ります！！



大和文謙

足柄小学校ならではの交流及び共同学習を築いていきたいと思えます。1年間よろしくお願いします。

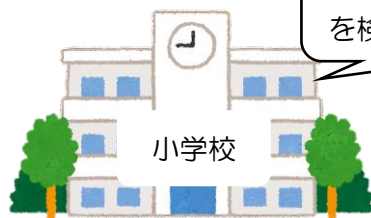


なにをするのかな？

みんながより学びやすい学校を目指すんだね



【背景】



小学校

小・中学校への人事交流を検討してほしい

小学校から人事交流

センター的機能



特別支援学校

小・中学校の支援力向上に協力したい

小学校は、教員の人材育成や特別支援の専門性の向上に向けたさらなる取り組みを進めています。インクルーシブ教育推進へ向けて、特別支援学校は、各地域の実情に応じてより効果的にセンター的機能が活用できるよう、その仕組みを構築していかなければなりません。そこで神奈川県は今回の「人的交流」で双方の願いを実現しようと考えました。

【人的交流の目的】

地域に応じた地域センター的機能の在り方を県立特別支援学校全校に広めることにより、特別支援学校の地域センター的機能の充実強化を目指します。足柄小学校との交流の実践と成果を他の小学校へ共有したいと考えています。

これからの取り組みについて

小学校の先生と特別支援学校の先生が力を合わせるんだね！



より授業がわかりやすくなったり、いろいろな友達と交流したりするみたいだよ！

① 誰もが主体的に学べる授業を目指す

- わかりやすい授業の内容を考える
- 授業の振り返り、先生たち同士でチェック
- 教材教具の充実・環境設定・ユニバーサルデザイン化

② 子どもの困り感をキャッチ

- 個別のケース会の充実
- プチ研修会の開催
- 情報共有
- 様々な学び場の検討

④ 小田原支援学校のインクルーシブ教育推進

- HPで小田原支援学校の教材や居住地交流の実践などの紹介
- インクルーシブ教育の実践報告、研修会の開催

③ インクルーシブの推進

- 居住地交流の推進と取組の紹介
- 「インクルーシブ通信」で人的交流プロジェクトの取り組みや教材の紹介
- 作品展示会などの学校間交流

最後に

足柄小学校では、各学級の支援教育の推進を目指して学習活動の支援を行っていきたくて考えています。交流級・支援級の児童が主体的に学べるような、その子にあった指導の工夫を探していきます。教室環境や授業のユニバーサルデザイン化など、実践事例を積み重ねることで足柄小学校の財産となるように努めていきます。また、居住地交流や学校間交流を通して、相互の触れ合いの機会を設け、共生社会実現に向けた一歩となるよう取り組んでいきたいと思ひます。